

2021 年度課題別/国別/青年研修 研修業務委託契約  
JICA 筑波センター・調達予定案件情報（企画競争）

独立行政法人国際協力機構筑波センター（JICA 筑波）が、2021 年度より開始予定の技術研修（課題別/国別/青年研修）のうち、今後正式に企画競争にて公告・公示を行う予定案件（14 案件）の情報を公開いたします。

これらの案件は、予定段階のものであり、あくまでも現時点での案件概要を示したものです。現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、日本政府は「日本における新型コロナウイルスに関する水際対策強化」を実施しており、今後、情勢等の変化により、案件の中止を含め、内容・実施時期（特に来日研修）等を変更する可能性があります。

本件に関する問い合わせは、JICA 筑波研修業務課（電話：029-838-1111、E メール：tbictp@jica.go.jp）宛にお願いします。なお、各案件に関する詳細な情報は、公示まで公表を差し控えておりますので、予めご了承ください。

2021 年 6 月 15 日  
独立行政法人国際協力機構  
筑波センター  
契約担当役  
所長 渡邊健

調達予定案件（１）

研修コース名	【課題別】土砂災害リスク削減
分野課題	防災
使用言語	英語
研修対象国 （人数）（予定）	インドネシア（１）、ベトナム（１）、バングラデシュ（１）、ネパール（１）、スリランカ（１）、フィジー（１）、ブラジル（１）、コロンビア（１）、ケニア（１）、ジンバブエ（１）、シエラレオネ（１）
研修期間（予定）	2021/11/28 から 2021/12/11
案件目標	土砂災害についての包括的な理解を深め、防災／減災のための効果的、効率的な構造物及び非構造物対策を検討する能力の向上強化を目指す。

調達予定案件（２）

研修コース名	【課題別】農業政策
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 （人数）（予定）	インドネシア（１）、バングラデシュ（１）、パキスタン（１）、アフガニスタン（１）、イラク（１）、ウズベキスタン（１）
研修期間（予定）	2021/12/6 から 2021/12/17
案件目標	研修員が日本の農業政策の歴史や現状を理解し、政策立案に関する講義、視察、参加者間での比較・討議を通じ、農業政策の立案にあたり必要な視座や知見を深め、既存政策に対する提言が行われる。

調達予定案件（３）

研修コース名	【課題別】農民参加による農業農村開発（A）（2020年度コースと合同実施）
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 （人数）（予定）	<2020年度>カンボジア（２）、スリランカ（１）、アフガニスタン（１）、アルバニア（１）、コソボ（１） <2021年度>カンボジア（２）、アフガニスタン（１）、イラン（２）、エチオピア（１）、ガーナ（１）、コソボ（１）、

	ウズベキスタン（２）
研修期間（予定）	2022/1/11 から 2022/1/31
案件目標	農業農村開発に資する参加型手法が研修員によって習得され、その知識が所属組織に共有される。

調達予定案件（４）

研修コース名	【課題別】中南米地域 市場志向型農業振興（行政官）
分野課題	農業・農村開発
使用言語	スペイン語
研修対象国 （人数）（予定）	エルサルバドル（１）、グアテマラ（３）、ホンジュラス（１）、メキシコ（１）、ニカラグア（３）、アルゼンチン（３）、ボリビア（１）、コロンビア（１）
研修期間（予定）	2022/1/15 から 2022/1/30
案件目標	研修員により作成される小規模農家の市場志向型農業振興のためのアクションプランに基づく活動が、研修員の帰国後１年以内に、研修員の所属組織により実践される。

調達予定案件（５）

研修コース名	【課題別】包摂的な農地行政と保有権改善
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 （人数）（予定）	ベトナム（１）、ザンビア（１）
研修期間（予定）	2022/1/22 から 2022/2/8
案件目標	研修参加国において、農地行政や農地の保有権の改善案が作成される。

調達予定案件（６）

研修コース名	【課題別】農産物の安全管理体制強化
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 （人数）（予定）	マレーシア（１）、フィリピン（１）、カンボジア（２）、ラオス（１）、ベトナム（１）、モンゴル（１）、スリランカ（１）、メキシコ（１）、エジプト（１）、ウクライナ（１）

研修期間（予定）	2022/1/23 から 2022/2/11
案件目標	農産物の安全担当部局の行政官が、自国の農産物の安全管理体制の課題を把握し、その改善に向けた取り組みのための研修成果レポートを作成する。

調達予定案件（7）

研修コース名	【課題別】アフリカ地域 市場志向型農業振興（行政官）（C）
分野課題	農業・農村開発
使用言語	仏語
研修対象国（人数）（予定）	ブルキナファソ（2）、カメルーン（2）、コートジボワール（2）、ニジェール（2）、セネガル（2）
研修期間（予定）	2022/2/1 から 2022/2/15
案件目標	本邦及び第三国で学んだSHEPアプローチを用いたアクションプランが、研修員により帰国後、実践される。

調達予定案件（8）

研修コース名	【課題別】家畜疾病診断基礎技術向上
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国（人数）（予定）	フィリピン（1）、カンボジア（1）、ベトナム（1）、パプアニューギニア（1）、パラグアイ（1）、ボツワナ（1）、ナミビア（1）
研修期間（予定）	2022/2/1 から 2022/5/31
案件目標	参加者の家畜疾病（診断・防除）に関する基礎技術が向上する。

調達予定案件（9）

研修コース名	【課題別】農村女性能力向上
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国	東ティモール（1）、インド（1）、モルディブ（1）、フ

(人数) (予定)	イジー (1)、サモア (1)、アフガニスタン (1)、イラク (1)、マラウイ (1)、ナイジェリア (1)、ジンバブエ (1)、南スーダン (1)、ジョージア (1)
研修期間 (予定)	2022/2/14 から 2022/2/25
案件目標	研修員が、日本の経験から生活改善アプローチと農村女性のエンパワーメントについての知識を習得する。

調達予定案件 (10)

研修コース名	【課題別】小規模農家の生計向上のための野菜生産技術
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	フィリピン(1)、カンボジア(1)、ラオス(1)、東ティモール(1)、インド(1)、ネパール(1)、スリランカ(1)、トンガ(1)、アフガニスタン(1)、タジキスタン(1)
研修期間 (予定)	2022/2/20 から 2022/9/17
案件目標	研修員が主要な野菜生産技術と農業経営の基礎的な知識及び課題解決能力を習得する。

調達予定案件 (11)

研修コース名	【課題別】市場志向型農業振興(普及員)
分野課題	農業・農村開発
使用言語	英語
研修対象国 (人数) (予定)	バングラデシュ (1)、スリランカ (1)、ボツワナ (1)、エチオピア (1)、ガーナ (1)、レソト (1)、マラウイ (1)、ナミビア (1)、ナイジェリア (1)、ウガンダ (1)、ザンビア (1)、ジンバブエ (1)
研修期間 (予定)	2022/3/1 から 2022/9/19
案件目標	本邦で学んだ市場志向型農業、野菜栽培技術、流通・販売方法および普及手法が帰国報告会等を通じて所属組織・担当地域内で共有される。

調達予定案件 (12)

研修コース名	【課題別】稲作技術向上 (普及員) (B)
分野課題	農業・農村開発
使用言語	仏語

研修対象国 (人数) (予定)	カメルーン (2)、コートジボワール (1)、ギニア (1)、 ギニアビサウ (1)、ニジェール (1)
研修期間 (予定)	2022/3/15 から 2022/10/15
案件目標	研修員の稲作技術、普及に関する能力および栽培実験を通じた実証に基づく知識が向上し、対象農村地域のニーズに即した業務改善計画が作成される。

調達予定案件 (13)

研修コース名	【青年研修】カンボジア/アグリビジネス/アグリツーリズムコース
分野課題	農業・農村開発
使用言語	カンボジア語
研修対象国 (人数) (予定)	カンボジア (17)
研修期間 (予定)	2022/1/16 から 2022/2/5
案件目標	日本におけるアグリビジネス/アグリツーリズムに関する基礎的な技術や制度に関する知識の習得及び自国の課題解決に向けた意識の向上

調達予定案件 (14)

研修コース名	【青年研修】東ティモール/農村振興コース
分野課題	農業・農村開発
使用言語	インドネシア語
研修対象国 (人数) (予定)	東ティモール (8)
研修期間 (予定)	2022/1/23 から 2022/2/12
案件目標	日本における農村振興に関する基礎的な技術や制度に関する知識の習得及び自国の課題解決に向けた意識の向上